食育だより

れいわ ねんと がつごう 令和4年度 7月号 かかぐちしりっあきひにししょうがっこう 川口市立朝日西小学校

しっかり食べて、夏ばて予防をしよう!

今年は猛暑だと言われています。もうすでに暑くなってきていますが、みなさんの体調は大丈夫でしょうか。『夏ばて』とは、夏の暑さに体がついていけず、食欲がなくなったり、疲れやすくなったり、頭がぼーっとしたりするという体の不調のことです。夏は楽しいことがいっぱいあります。暑さに負けず、元気に乗り切るために、6つのことに気を付けましょう。

1 冷たいものの飲みすぎ や食べすぎに注意



浴たいアイスやジュースばかり飲んでいると、おなかが冷えて端くなってしまいます。また、浴たいそうめんや冷やし守難だけでは、栄養バランスもかたよってしまいます。

2 朝ごはんをしっかり 3 食べよう



1日3回の食事は、生活のリズムを整えます。特に、朝ご飯は1日を元気に始めるために大切です。みそ汁やスープは、水分補給にも役立ちます。

3 夏野菜をたくさん食べよう



太陽をたっぷりと落びた贄の 野菜や果物には、ビタミン・ミネラル(無機質)・水分がたくさん入っています。 夢く入っているカリウムという栄養素は、体の塩分の調節をしてくれます。

4 牛乳も忘れずに飲もう



夏ばみに入り、給食がなくなると飲まなくなる人はいませんか?成長期のみなさんにとって、カルシウムやエネルギーの補給源として生乳はとても大切です。

5 冷房に気をつけよう



養時間キンキンに含えた部屋にいると、体温の調節がうまくいかなくなります。 涼しい朝など、適度に外に出て完気に遊びましょう。 冷房の温度にも気を付けてくださいね。

6 夜ふかしをしない



だりの行事食 がつなのか たなばた 7月7日は『七夕』です

七夕には行事食として『そうめん』を食べます。中国の昔話が元になっていて、そうめんの原型である『索餅』という食べ物をお供えすることで1年間健康で病気にならないと言い伝えられてきました。これが現代ではそうめんに代わり、行事食として食べられるようになりました。

こんねん と 今年度は、1年を通して埼玉県に関することをお伝えしていきます。

今月は 彩の国黒豚



今月は、『さいのくにくろぶた』です。黒藤というと鹿児島県が有名ですが、埼玉県では100年齢から黒藤を飼育していて、鹿児島県・営崎県に次いで日本で3番曽に多く出荷しています。肉質はきめ細やかで歯切れがよく、風味はまろやかです。また、脂肪は白く替みがあり、さっぱりとしていて口当たりはなめらかなのが特徴です。この旨味を引き出すために、髪やさつまいも、国内産のお米などを食べさせています。通常の豚は6か月で出荷されますが、彩の塩黒豚は、8か月かけてゆっくりと育てます。こだわりのえさと簑い飼育期間により、手間やお金がかかりますが、その分おいしくなります。

下のは、主に体をつくるもとになる食品で、『たんぱく質』が多く含まれています。食べると元気が出て、体が大きく成長します。また、ビタミンB1もたくさん入っていて、ごはんやパンからとった糖質という栄養素を、エネルギーにかえてくれます。食べると元気が出て、とってもおいしい彩の国黒豚を、お店で見かけた時は、ぜひ一度食べてみてくださいね。



がつ きゅうしょくこんだてしょうかい 7月の輪食献立綱介

『にんじんのしりしり』は、沖縄県の郷土料理です。しりしり器というスライサーは一家に一台あると言われています。スクランブルエッグを作っておき、後で合わせるのがポイントです。

○にんじんのしりしり○~7筒5首(炎)~

<材料> 4人分

にんじん 1/2本

たまご 1個

ごま油 小さじ 1/2

しょうゆ 小さじ1強

しょうゆ 小さし「強

みりん 小さじ 1/2 強

顆粒だし 0.8 g

塩・こしょう 少々

く準備>

- にんじんを干切りにする。(しりしり器を使用すると簡単です)
- たまごを割ってよくかき混ぜ、スクランブルエッグを作る。

<作りかた>

- ① フライパンにごま油をひき、にんじんを炒める。
- ② しんなりとしたら、事前に作っておいたスクランブルエッグを加え、残りの調味料を加える。
- ③ しっかりとなじんだら完成。